

## 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 平成27年度第1回美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会
- 2 開催日時 平成28年1月27日（水）午後1時38分から午後2時50分まで
- 3 開催場所 美里町役場3階会議室
- 4 会議に出席した者
  - (1) 委員  
委員長 塩野 悦子、委員 青木 英治、伊藤 努、澤村 美香子、青木 正男、鈴木 一子、田中 由喜子、鈴木 恵美子、佐々木 めぐみ、笠原 房子
  - (2) 事務局  
子ども家庭課 課長 安部 直司、参事 奥山 俊之
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
  - 議事 (1) 美里町立保育所の運営のあり方について
  - (2) その他会議 公開
- 6 非公開の理由  
\_\_\_\_\_
- 7 傍聴人の人数  
0人
- 8 会議資料  
美里町立保育所の運営のあり方について  
  
参考1 地方版子ども・子育て会議について

9 会議の概要  
開会 進行  
奥山参事

本日は、皆様お忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。はじめに、美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会条例第2条第2項による委員の第3号委員の関係行政機関の職員の委嘱状の交付につきましては、町長が公務のため不在であります。青木 正男 委員、佐々木 めぐみ 委員には、委嘱状を予めお渡ししましたので、ご了承願います。

ただいまから 平成27年度第1回美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会を開催いたします。

本日、委員11人中10人の委員の出席をいただいておりますので、美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会条例第4条第2項の規定により、委員の半数以上の出席が必要でございますけれども、本日の定足数を満たしていることを報告いたします。

委員長あいさつ

塩野委員長

皆さんこんにちは。今日は遅れてまいりましてすみませんでした。最近、虐待死についてニュースが流れていて、これ以上こういうことが起こらないようにと思っておりますが、どうしても、引き続き、起きてしまっています。昨年末になりますが、4か月の自分の子どもが泣き止まないということで、毛布で顔を覆って窒息死させた事件がありました。私は、仙台市の虐待死の検証に携わる委員をしていて、その資料を見る機会がありました。子どもを育てるといことは不安が伴います。特に、初めてのお子さんだったりするとちょっとしたことで気持ちが揺れ動いたりとか、その方は、人に頼るといことができていけません。昔から自分で何でも完璧にこなし、人に心配をかけないようにしようという精神を人より強く持った方でした。それが、悲しい方につながってしまった。

結婚から妊娠して子どもを産んで、医療者と繋がっていたか検証しましたら、じっくりその方の話を聴く機会がなかったようです。一つひとつその時その時、きちんと話を聞いてあげる。傾聴、簡単な言葉ではありますが、本当にそれが大切だと感じました。子どもが産まれますと予防接種とかで頻繁に医療機関を訪れるのですが、そこでも何気ないことで傷ついてとか、保健・福祉・医療機関の方々が子育て中の母の気持ちに寄り添う必要があると感じています。私も検証する立場にありますので、本日は皆さんにお話をさせていただきました。

保育士問題というのが、日本では課題ではないかと思っています。美

里町でも子どもの支援が大きく変わろうとしている大切な時期でありますので、本日の議論が活発に行われるといいと思いますので、今日はよろしく願いいたします。

## 進行

奥山参事

ここで、会議の次第にはございませんが、当委員会の会議運営について委員の皆様にお諮りさせていただきたいことがあります。議事録署名委員ですが、「美里町附属機関等の会議の公開に関する規則」第15条「会議の作成」には会議録を作成し、当該会議に出席した2人以上の附属機関等の委員の署名を得なければならないとなっております。署名委員には、伊藤努委員と佐々木めぐみ委員にお願いしたいと思います。また、議事録の公開につきまして、会議の議事録及び資料は、後日署名をいただいた後に町のホームページに公表させていただくことを了承願います。議事の進行につきましては、委員長よろしく願いいたします。

## 議事

塩野委員長

それでは議事に入らせていただきたいと思います。本日の議題は、「美里町立保育所の運営のあり方について」事務局からご説明をお願いします。

安部課長

資料の説明。

塩野委員長

はい、ただいま「美里町立保育所の運営のあり方について」説明をいただきましたが、美里町町立保育所の運営形態の見直しにより民営化を図り、町が出資する一般財団法人を設立して、現在の小牛田保育所、なんごう保育園の運営を任せて、保育を実施するということ。また、運営主体が町の出資法人であれば、公設民営でありますから、町の保育士を派遣することができること。や、現在の非常勤職員保育士を正規職員の保育士として採用することにより、雇用の安定、処遇の改善が図られるということ。そうなれば、これまで毎年のように非常勤保育士の募集を10数人行ってきたようですが、募集を行わずに済むことは、保育所運営においても重要なポイントに思えます。以上の運営のあり方について委員の皆さんからのご意見がありましたらお願いいたします。

青木委員

これを読ませていただきますと民営化は民営化なんですが、形式上の民営化というか、子会社的にするというように思うのですが、経費が節減できるということがいまいち分からなかったのですが、例えば、町が保育所運営をやっている場合は国の補助金は降りないが、民営化

すれば補助金が降りるといふか、そういう経費が節減できるメリットはあるのか。子会社化するという事は実際町が運営しているのと変わらない状況が続くと思うのですが、その辺がちょっと分かりません。

安部課長

町が出資する一般財団法人につきましては、国・県から言わせますとそれは公設公営になり、建物を建てる際、運営費につきましてもこれまでと変わりありません。と言っています。現在の国の動向といたしまして、私立保育賞には補助金はありますが、公立の保育所を建てる際には補助金は出ない状況が続いています。県で、厚生労働省との意見交換会がありましたが、その際に、あえてお聞きしますが、公立保育所建設時の補助金の見直しをする予定はないのでしょうか。ありませんとの返事でした。ただ、情勢が変われば、見直しすることがあるのではないかと考えています。それが、1年後ではなく、2年後3年後に変わればいいのではないかと。人口が増えている市については、良いのですが、それ以外の町につきましては、人口は減少していますが、働く保護者が増えていることから、子どもを保育所に預けたいという方が増えています。国の方でそうした町村に補助も出さなくて、町単独だけで建てることを見直ししてほしいと考えています。また、見直しをされることを期待しています。

青木委員

現在、非正規でしか雇用できていない方を、財団法人を設立することにより、正規職員ということになるということは、正規職員が増えることになりますか。また、町で正規雇用できなかった方を正規雇用することになるのですか。

安部課長

はい、そうです。一般財団法人で雇用することになりますと小牛田保育所での運営費と比較しては低くなりますが、子どもの規模120人規模の場合、事業費として1億5千万円前後はかかります。保育料としての歳入は、2千500万円位ではないかと見込まれます。

青木委員

今回の民営化という提案は、経費節減ということも一つはあるのですが、雇用を安定化させたいというのが目的の一つなのですか。

安部課長

そうです。今年度もそうですが毎年待機児童が発生している。特に、0・1・2歳児で、その解消を含め、小牛田保育所分園の環境改善も含めた対応としてあります。ただ、建設は町の一般財源であり、町の財政状況を考慮すると難しい場面です。町の財政状況につきましては、次回の会議に企画財政課の職員からの話を聞いていただいて、今後の保育のあり方について、財政状況を踏まえた形で検討していただければと考えています。

塩野委員長

そのほか意見ありませんでしょうか。

澤村委員 小牛田保育所となんごう保育園の児童一人あたりの年間経費の違いというのは。

安部課長 児童の年齢によって単価が違ふことと人数、規模によつても単価が違つてきます。小牛田保育所は150人規模、なんごう保育園は45人規模ということで一人あたりの経費の差が出てきます。

澤村委員 預ける親とすれば町立保育所の保育料とかサービスとかそういった違いはどうなのでしょう。

安部課長 美里町に住んでいるお子さんについては、町立保育所、大崎市の公立保育所、私立保育所に入っている場合、町で定めた保育料になります。

澤村委員 保育料は変わらないということですか。

安部課長 はい、そのとおりです。

澤村委員 保育所の形態としては、いままでと変わらないということですか。

安部課長 変わりません。

澤村委員 預ける方は、心配しなくていいよということですか。

安部課長 一般財団法人になつたからといって変わることはありません。現在も町の正職員か非常勤職員かは、町の関係職員しかわかりません。保護者にとっては保育士には変わらないということです。一般財団法人に移行した場合、保護者の方は知っている保育士がいないと不安になるということがありますから、顔なじみの保育士にそのまま働いてもらうようにすることになります。そうしたことで、安心感も生まれるのではと考えます。保育の内容についても変えないで進めていくようにと考えています。

青木委員 後々、幼稚園と保育所が幼保一体型の施設となつてきたときに、幼稚園の民営化に移管していく可能性についてはありますか。

安部課長 その件については、教育委員会の渋谷副委員長からお話をいただきたいのですが、あいにく同時に教育委員会が開催されていて本日欠席しています。認定こども園にいろいろな形態がありまして、幼稚園型や保育所型、幼保連携型認定こども園があり、現在ある幼稚園に0歳児・1歳児・2歳児の保育施設を併設した幼保連携型認定こども園は、0歳児・1歳児・2歳児は保育、3歳児・4歳児・5歳児は学校教育を行い、保護者が就労している児童は、保育所と同じように、預かり保育を実施するというものが、幼保連携型認定こども園です。そうしたものをふどうどう幼稚園、こごた幼稚園に併設できないかということも今回検討していただく一つだと考えています。

塩野委員長 そのほかありますか。

塩野委員長 事務局にお聞きしますが、保育所を建設する計画案とかありますか。

安部課長 財政的なものが伴いますけれど、先ほどお話ししましたけれどほとんど町の単独事業となりますから、新たな保育所を経営するには、まず土地の取得、建物を建てる。それから運営費となります。構想といたしましては、駅東に120人規模の保育所と子育て支援センターを併設したものをできないかいま検討しているところです。その辺のところについても皆さんからご意見をいただいて、まいりたいと考えているところです。実施にあたりましては、先ほどお話いたしました、企画財政課から町の財政状況を聞いていただいてから皆さんからご意見をいただければと考えています。

塩野委員長 企画財政課からの話は、次回ですか。

安部課長 3月頃にと考えています。

塩野委員長 3月頃ですね。

安部課長 はい、その後の4月、5月あたりで会議を継続して開催し、そして意見をまとめていくというように進めていくと考えていました。

塩野委員長 子ども家庭課では、駅東に新しい保育所を提案なさっているということですか。

安部課長 はい、子ども家庭課から町長に対して提案をしているところです。

伊藤委員 根本的に保育士が足りないため待機児童がいますが、ハコがいっぱい出来ても子どもがだれも入れない状況になるのでは。そこに行く前の前段階での解消をしていかないと意味がないと思います。保育料が2,500万円で、保育所の運営費で1億5千万、民間で例えば新規参入、私も法人で、新規参入組でけど、どう考えてもやりたいという会社は出てこないと思います。信じられないくらい経費がかかっていますから。それだけあったらなんかできそうな気がします。専門的ではないので、数字だけを見ると一般の民間保育の経営からみるとどうしようもない感じがします。先ほど話がありましたが、運営費が保育料に反映されてもっと高くないのですかということ。保育料が2千5百万円で、運営費が1億5千万ではそのしわ寄せは私たちに來るのではという気持ちも分からないことではない。保育士の確保についても短時間でこうします。ああしますと話を聞くとすごいハッピーハッピーで終わるような資料もそうですし、実際にそういうところでないような気がしています。

安部課長 いま伊藤委員さんがお話をされましたけれど、先ほど一般財団法人が経営をした場合は公設民営になりますと運営費は国からの補助があります。国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1となりのので、民間で運営した場合は、スムーズにいくと考えます。公設公営では厳しい

状況です。新しい保育所を建てた場合、いま小牛田保育所、なんごう保育園と二つありますけれどプラスとして経費がかかる状況になります。

伊藤委員

無認可保育園が美里町には6つありますけれど、それが町の保育所が整備されていき、保育士も子どもも全部集まって待機児童がなくなるということは、私たち無認可は必要なくなるということに近づくのかなと心配もあります。大崎市は無認可が多いですし、涌谷町もありますし、美里町の待機児童は、少なからずとも無認可保育所で0歳児等の保育の協力できていると思います。私たちも保育士を確保するのが大変で、給料を上げて集まらない状況はあります。美里町はこういう状況ですが、無認可保育所がもっともっとできることも一つの案だと思います。0歳児等の待機児童の解消もできると思います。また、あと何年無認可保育所を継続できるのかなと聞いていました。

安部課長

特に0歳児なのですが、平成28年度に入所する0歳児につきましては、新年度入所児童募集時にすでに生まれていないと平成28年度は入所できません。年度末から年度初めのこれから生まれた場合、保護者の方が育児休暇後勤めようとしても保育所の待機児童になってしまいます。これは毎年続いています。そうしたことから認可外保育施設の役割はなくなるのではないかと考えています。

伊藤委員

会社の業績によりますから、0歳児を何人集めるか、そこから保育料をいくらいただいて、そして運営していくと考えると預ける子どもがいないからなくなるのではなくて、運営できる業績を出せるかということ、例えば0歳児4人いてそれで園を運営していけるかということそれは難しい。0歳児だと保育士が足りないからすみませんと断らざるを得ないことも無認可にはある。0歳児、1歳児は無認可保育所が美里町にあることによって、住民サービスにとっては良い方向にいていると思います。2歳、3歳になると認可に行くようになる。いちばん人数をかけられないところに無認可に来てしまうと0歳児で保育料はいくらいただくのですかという1か月7万円いただいたら預けてくれますか。というそれは無理ですから、そういう状況にあるということです。いま、無認可保育所が頑張っているときに町としてしっかりした施策を打っていただければ、喜んで無認可を閉めます。そして認可の方へと。そうでないと利益を追求して施設運営費をいただいているのではないので、ぜひそのところの協力をさせてもらえればと思います。

塩野委員長

それぞれの立場からどういう形があるのかご意見をいただいています

が、これからまだまだ議論しなければならない点がありますが、この会議の中でアイデアを出すのも時間が足りないですから、これから3月に企画財政課から町の財政状況について話があると思いますが、それに合わせて、ワークショップ的なものを開催して意見をだしていただくのはいかがなものでしょうか。公設民営が事務局から出されていますが、いかがでしょうか。

鈴木一子委員 いまの話聞いて、認可外保育所と町の保育所が持ちつ持たれつという形にいるということを感じました。ふどうどう幼稚園の時に預かり保育が幼稚園で始まる時に、認可外保育所の人たちが私たち食べていけなくなると話をされました。預かり保育も満杯になり認可外保育所にお世話になっているお子さんの数も多くいました。認可外で0歳児が大変ですから、0歳児の入所希望が多い小牛田保育所で0歳児を面倒を見て、1歳児、2歳児の多いところを認可外に願うかたちも必要なのかなと思いました。

伊藤委員 子ども側だけでなく、私のところでは保育士は社員になりますから、子どもがいなくなって仕事がなくなった時、町から出された保育所になった時にぜひうちの保育士も入れて欲しいと思います。雇用を何とか確保してあげるのが雇用主の考えなので、うちの保育士が町の保育所で活躍して欲しいという思いがあります。若い保育士を雇っているところであれば経営ができなくなった場合、自分で職場を探してらっしゃいというよりは、町のそうした立派な施設であれば待遇もよくなるし、給料も高くなるので町に雇ってもらいたいです。

鈴木恵美子委員 0歳児は1・2歳児の保育士が倍必要になり、人件費も倍になります。伊藤委員さんがお話しとおりでと思います。ここ2～3年12人の定員に対して2倍以上の応募があり、子どもが生まれていることはうれしいことですが、定員がありますし、保育士は子ども3人に1人です。

伊藤委員 0歳児も朝の7時から夜の7時までの12時間保育、保育士に時給1,100円支払、12時間で13,200円/日、その他に社会保険、雇用保険等の経費2万円位掛かって、20日間としても月40万円の給与は、大変な事ですね。それを考えたら、0歳児2人を預かって給与等が約40万円になりますから、保育料は20万円ずつもらわないといけませんね。でも、給与が低いですね。町でその辺を解消してもらわないといけませんね。無認可は施設が狭いですし、0歳児と3歳児と一緒に過ごすということは事故が起きやすいです。原因は、3歳児が走ってぶつかることが多いです。きっちり住み分けをすることが



いいと感じます。

鈴木一子委員 保育科のある短大も現在は多くなっていますから、保育士の実習生の数は多くなっています。これまでは1年間に3人位でしたが、1期・2期制とって10人位保育実習生がきます。保育士の資格は取りますが、地元に戻らない傾向が見られます。東京方面に就職し、辞めて来て町内の非常勤に応募する様子が見られます。卒業生が多いことは見えています。

澤村委員 就職先を選ぶ基準は何でしょうか。

田中委員 都会の方だと寮が完備されていて、働く環境が充実しているということです。そういうところが若い人にとっては魅力だと言えます。後は給料だと思います。

鈴木一子委員 私立保育所に就職後、保育所は、女の世界ということもあり、できないと時間が超過するとなればきつかったりするの、半年くらいでやめるケースも多い。そして、次の職場へと転職するようです。

澤村委員 そういう方に何を基準として選択するのかアンケートを取ることは出来ませんか。そうすれば改善策も見えるのではないのでしょうか。全部は改善できなくとも考える余地はあると思います。

鈴木恵美子委員 ここにいる委員が短大時代は四つか五つ位しかありませんでした。いまは専門学校、短大、4大を含めると12～13あると思います。そのくらい保育士を目指している人はいるはずなのですが。また、実習生から保育所が決まった連絡はいただきますが、地元は望んでいないようです。

伊藤委員 県の立入の際に、保育士の資格を持ちながら働かない人数は何人位か、年齢はどうですか等聞きました。40代が多いようです。若いときに保育士を辞めてしまうようです。

鈴木恵美子委員 30代から40代は子どもがいれば、高校生・大学生でこれからお金がかかる時期なので、仕事をしなければならないという気持ちがあります。辞めないで働く人と夫の扶養の範囲内で働く人がいて、この世代の保育士は任せて安心な対応ができる。子育て中なので、働く時間帯を選びたいところがあります。若い世代や年配世代の保育士を含め全員から苦情が出ない働く時間帯の調整は難しいところがあります。

伊藤委員 年齢層を聞いたのは、求人を出す際に特記事項に書いてあげることにより応募しやすいこと。若い保育士は認可に行きたがりますから、隙間を狙うために年齢層を聞きました。年配であれば、煩わしい保育事務は一切させませんとか。現場のみと特記事項を書いたら、認可保育所に行っていたのだけれどそこがしんどいので応募したとのことでした。

た。保育士の年齢を調べるというのは重要です。年齢にあった求人票の出し方があります。保育士のニーズに沿って行かないと保育士の確保は難しいです。給料を上げただけではだめかもしれません。保育士が欲しいから求人で給料を上げるといまいる保育士から苦情が出ることもあります。その辺は派遣とパート保育士の人間関係が気まづくなります。

鈴木恵美子委員 早番だけ、遅番だけとなると午前中に主な活動があり、午後においては午睡、自由遊びの中で子どもたちの安全な遊びをしながら保護者が迎えに来るのを待ち、清掃とかを行います。保育の質が違ってくるし、保育の準備もある。非常勤で早番と遅番では、遅番の希望者が多いと思われる。そうした場合、主な活動の午前中に保育士が不足することが見込まれます。そのため、早番と遅番を1週間交代で行っています。非常勤保育士自身も活動の準備を行い、活動のリーダーとなり行事を行うことにより、保育力の向上につながります。そうしたことから早番と遅番の対応のできる方が必要と考えています。

塩野委員長 これから町がどうした形で保育所を運営していくのか、議論することがたくさんあるのかなと思います。何がいちばんいいのか、皆さんの立場から、預ける側の気持ち、町の運営上の問題、財政上の問題、全部いろいろなものを満たすようなことは難しいかもしれませんが、引き続き話し合いは必要になってくると思います。いかがでしょうか。事務局の方から、ワークショップのスケジュールについて示してください。今後は、会議ではなくざっくばらんに意見を出し合えるような場をつくっていただければと思います。

安部課長 大きな課題でありますので、時間をかけて検討していただきたいと思います。2月・3月につきましては、ワークショップを開催するというので、まずは、前段として幼稚園保育所の園長がいますので、保育のスタイルについて整理を行い、その後、全員でワークショップという形で3月に行いたいと思います。その後、4月から5月にかけて子ども・子育て支援事業計画策定等委員会を開催し、意見を出していただいて取りまとめを行い、町に意見書を提出という形で進めていきます。ですから、ワークショップ以外に委員会は1回から2回の開催は必要と考えます。

塩野委員長 ただいまの進め方で、いかがでしょうか。

各委員 異議なし。

塩野委員長 それでは、ただいまの案で進めていきたいと思います。意見のとりまとめは、4月をめどですか。

安部課長 はい、年度初めで何かと忙しいと思いますけれど、4月から5月めどにして意見を取りまとめるようにします。

塩野委員長 それでは、本日の議題の1については、これで終了します。次に、その他、事務局からありますか。

奥山参事 ありません。

塩野委員長 なければ、本日の美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会の協議はこれで終了いたします。

閉会

奥山参事 塩野教授進行ありがとうございました。その他はありませんので、本日の会議はこれにて終了いたします。お忙しいところありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成28年 5 月 30 日

委員 江本めぐみ 

委員 伊藤 努 